

課題180 自治体向け音声翻訳システムに関する研究開発 概要

背景と課題

様々な課題を抱える自治体において、ICTを活用した課題解決が期待されており、音声翻訳システムは、自治体窓口での会話などの各種行政サービスにおける外国人対応への応用が期待されている。

音声翻訳システムは、NICTで研究開発した技術に基づいて、旅行を対象として実用化されている。

しかしながら、旅行向けの音声翻訳システムを他分野あるいは他言語で利用しようとする、音声認識／翻訳できる語彙の不足など様々な問題が妨げとなって十分な性能が出ず、現時点で直ちに利活用可能ではない。

本委託研究の目的

本研究開発では、既存の音声翻訳技術をベースとして、新たに、自治体向けのシステムを構築し、実験を経た改良を行い、自治体等向けシステムの基盤技術の確立を目指して研究開発する。

研究開発の概要

1) 音声翻訳の実際のニーズを正確に把握し、必要な実験に対して業務の一環として協力を得るために、自治体との強固な連携を確立する。

2) 自治体窓口向け音声翻訳システムの構築とそのために必要なコーパスの収集

●必須となる要件

- 日⇔3言語を対象とする自治体向け音声翻訳システムを構築する。
 - 3言語は自治体の実態に合わせて選択する。
- 必要な対訳コーパスと音声コーパス等を公開可能な形で収集する。

●実施することが望ましい要件

- 自治体を対象にしたクラウドサービスのビジネスモデルを提案する。

自主研究との関係

本研究開発は、当機構の自主研究と相補的である。

本研究開発は、自主研究では対象としない自治体関連分野について研究開発を行う。

対訳コーパスと音声コーパスは、第三者の利用を可能とする。

研究開発期間：契約締結日から平成31年度までの5年間

予算：年度毎に総額150百万円を上限とする

採択件数：1件